

いばらき 宇宙ビジネスフォーラム 2022 in 水戸

2022 9.7 水

15:00 ~ 17:30 (受付開始 14:30 ~)

定員 50 名(先着順)

茨城県庁 11階アトリウム

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

JR水戸駅南口から直行バスで15分 県庁駐車場あり



参加方法

ウェブサイト内にある、参加登録フォームからお申し込みください。 <http://www.uchuriyo.space/iss2022/>

申し込み締切 9月5日(月)10:00

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、オンライン開催に切り替える場合がございます。



プロローグ 15:00~15:10

茨城県の宇宙ビジネス支援の取り組みについて / 茨城県

講演 15:10~16:40

挑戦する企業! 釧路製作所の 宇宙産業参入のきっかけと 今後の取り組み

中川 翔太 氏

株式会社 釧路製作所
技術グループ



北海道釧路市に工場を構える日本最東端の橋梁メーカーがどのようにして宇宙産業に参入し、今後どのように取り組むのか。また、なぜ釧路製作所は宇宙産業に取り組むのかについて、経営企画室 室長 田邊 篤巳 氏と共に講演する。

今後の宇宙産業発展に必要なものは 宇宙の産業化に向けてのモノづくり サプライチェーン(仮)

古友 大輔 氏

株式会社 たく
代表取締役



昨今、宇宙ビジネスは成長産業として注目が集まっている。2010年頃から宇宙ベンチャーが徐々に立ち上がり、2015年を過ぎると日本でも一気に資金調達が活発になった。2020年には海外も含めると過去最高額となる6000億円が宇宙ベンチャーに投資された。今後宇宙がより産業化するにはお金を「使う」から「稼ぐ」にシフトすべきで、宇宙を産業として根付かせるためには商業的成功が必要である。経済合理性をもった開発を実現する為に必須と考えるモノづくりサプライチェーンの構築について講演予定。

宇宙探査イノベーションハブの 施策の紹介

香河 英史 氏

宇宙航空研究開発機構(JAXA)
宇宙探査イノベーションハブ 技術領域主幹



宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙探査イノベーションハブでは、企業・大学・研究機関等の研究開発者より、宇宙探査に関する技術情報を提供いただく「情報提供要請(RFI: Request For Information)」を行い、その情報を基にJAXAからの課題を設定し研究を募る「研究提案募集(RFP: Request For Proposal)」によって、オープンイノベーションを起こす研究開発を実施しており、その概要を紹介する。

ネットワーキング 16:40~17:30

御参加の皆様には、コーヒー(1杯無料)をお楽しみいただきながら登壇者・参加者とのネットワーキングに御参加いただけます。

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。

主催: 茨城県、いばらき宇宙ビジネス創造コンソーシアム



茨城県

IBARAKI Prefectural Government

問い合わせ先

一般財団法人日本宇宙フォーラム内
いばらき宇宙ビジネスサミット事務局
e-mail: ibaraki.space@jsforum.or.jp
<http://www.uchuriyo.space/iss2022/>

